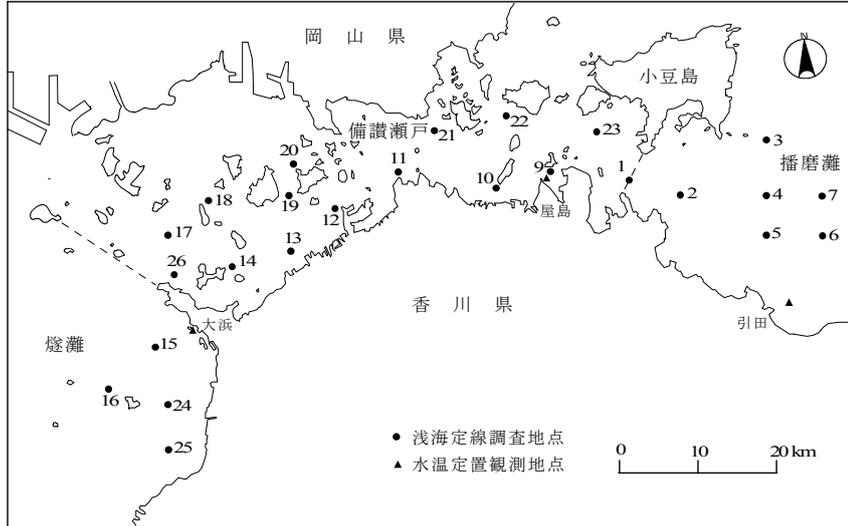


香川県漁海況速報 平成 22 年 6 月 (H22-3 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 22 年 6 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「かなり低めから平年並み」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

6 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	17.2	16.7	15.4	31.6	31.6	31.9	11.4	5.55	5.23
	平年値	18.4	17.1	15.4	32.0	32.1	32.3	9.6	5.37	4.60
	平年偏差	-1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4	2.8	0.33	0.34
	状 況	かなり低め	やや低め	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	かなり高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	17.4	17.2	17.1	31.6	31.6	31.6	6.1	5.43	5.37
	平年値	18.0	17.6	17.4	32.2	32.3	32.3	5.0	5.21	5.08
	平年偏差	-0.6	-0.4	-0.3	-0.6	-0.7	-0.7	1.1	0.22	0.29
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.6	0.9	0.33	0.29
	状 況	やや低め	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや高め
燧 灘	4地点平均値	18.8	17.3	15.2	32.4	32.5	32.0	12.0	5.48	5.00
	平年値	20.4	17.0	15.2	32.5	32.7	32.9	10.3	5.42	4.38
	平年偏差	-1.7	0.3	0.1	-0.1	-0.2	-0.8	1.7	0.06	0.62
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	3.1	0.41	0.54
	状 況	かなり低め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	平年並み	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

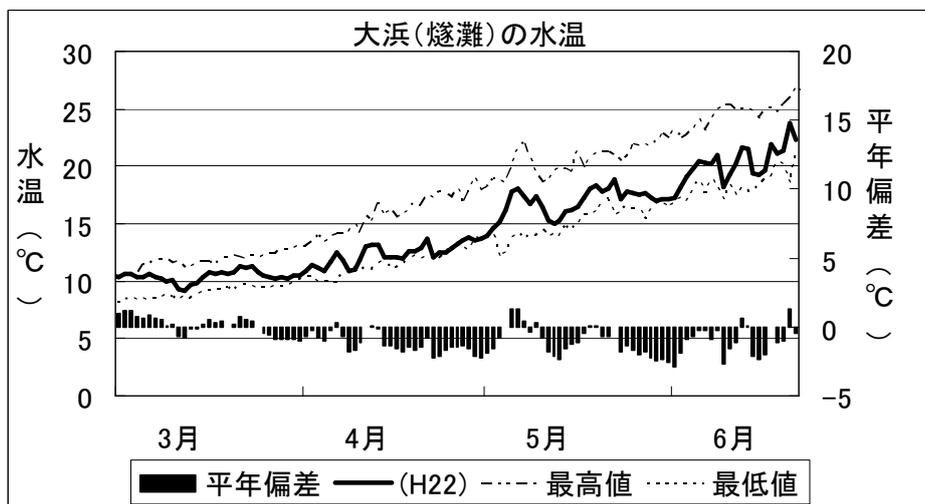
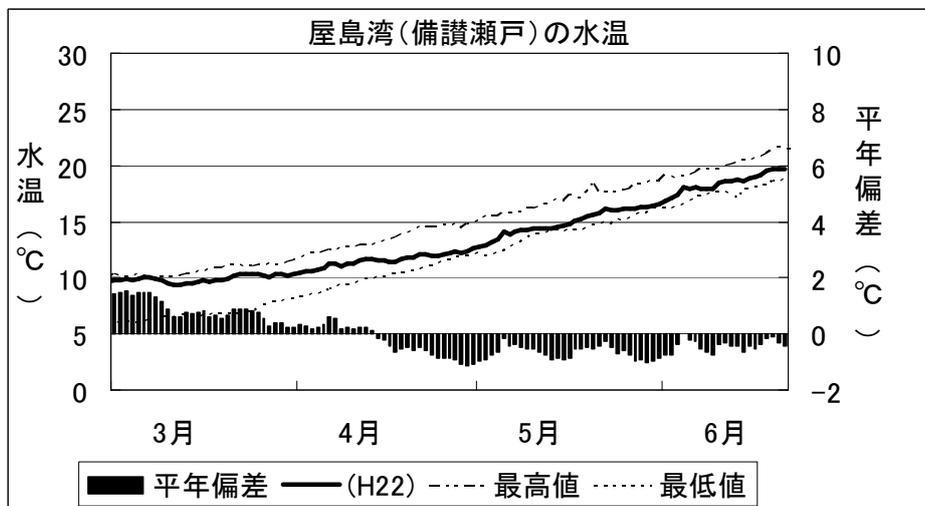
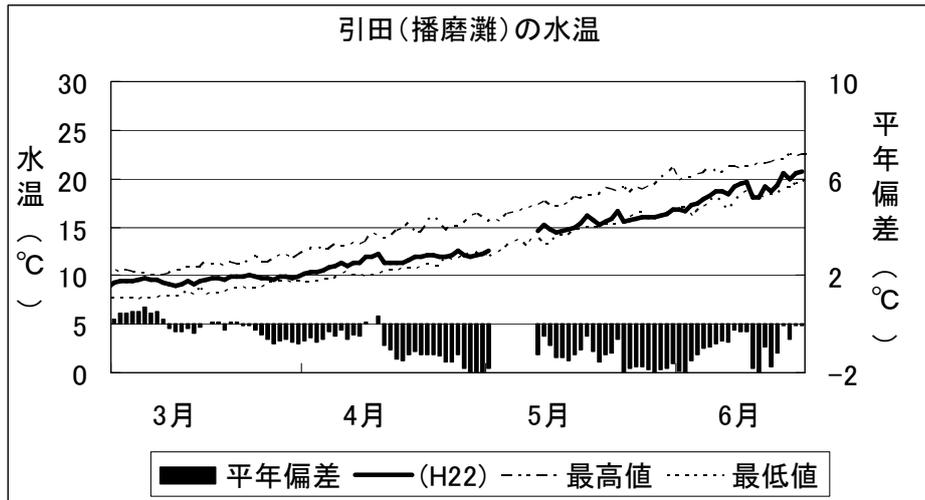
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 3月はやや高めからやや低め, 4月は平年並みから著しく低め, 5月はかなり低めから著しく低めで推移し, 6月は著しく低めから平年並みで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 3月はかなり高めから平年並み, 4月は平年並みからかなり低め, 5月は概ねやや低め, 6月はやや低めから平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 3月はかなり高めからかなり低め, 4月はやや低めからかなり低め, 5月はかなり低めから平年並み, 6月はやや低めから平年並みで推移している。(3月初めに最高値を更新。4月初旬と下旬に過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (5月25日～6月21日)

播磨灘：5月27日に播磨灘南西部（志度湾奥）で *Prorocentrum minimum* による赤潮が確認された。また、4月21日に播磨灘西部から南部海域で発生が認められた *Noctiluca scintillans* による赤潮は6月21日現在も継続中である。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成22年6月1日（備讃瀬戸，燧灘），2日（播磨灘）

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	20.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	1.8
	平年値	29.7	3.2	0.1	0.1				
	対平年(%)	68	75	0	0				
備讃瀬戸	平均値	14.5	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	9.7
	平年値	5.4	2.7	0.2	0.1				
	対平年(%)	270	253	0	0				
燧灘	平均値	178.6	58.6	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	5.4
	平年値	63.6	11.5	0.5	0.1				
	対平年(%)	281	511	0	0				
総平均	平均値	54.3	17.7	0.0	0.0	0.0	0.0	30.1	6.6
	平年値	31.6	7.5	0.2	0.1				
	対平年(%)	172	235	0	0				

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

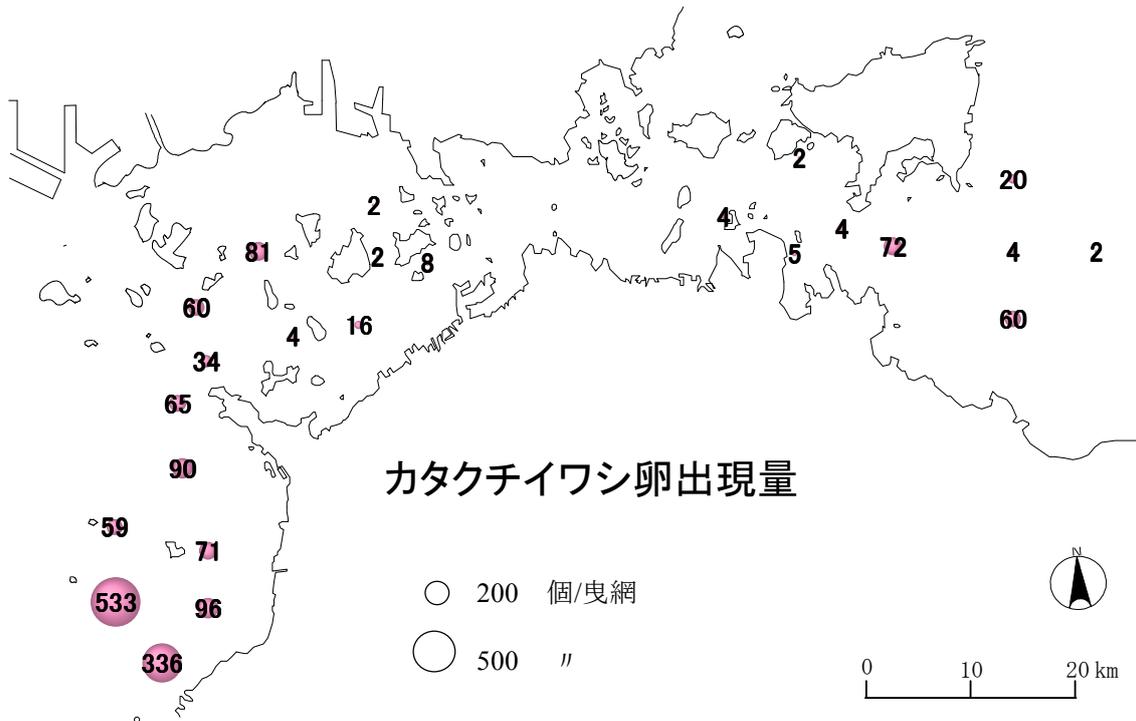
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年（1980）～平成21年（2009）年度

マイワシ：平成5年（1993）～平成21年（2009）年度

イカナゴ：平成7年（1993）～平成21年（2009）年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

5月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、ウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、オニオコゼ、ナシフグ、コノシロ、シロギス、ネズッポ類、小エビ類、マダコ、コウイカ、マツイカ（小型のスルメイカ）、アカニシが漁獲されている。小エビ類、マダコは前月より増加傾向である。また、オニオコゼは好調、ウシノシタ類は低調、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>さわら流し刺し網の5月までの漁獲量は、2～4kg サイズの漁獲増により、前年の144%となっている。</p> <p>いわし機船船びき網は5月23日から操業が開始されたが、不漁である。</p> <p>建網では主にカサゴが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、メイタガレイ、ニベ（コイチ）、ウシノシタ類、マダコ、小エビ類、アカニシが漁獲されている。</p> <p>さわら流し刺し網の5月までの漁獲量は、2～4kg サイズの漁獲増により、前年の215%となっている。</p> <p>建網では主にマダイ、クロダイ、キュウセン、メバルが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にクロダイ、コノシロ、ボラが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網による5月のシンコ漁獲量は377トンで、平年同期（過去10年平均：448トン）の84%となっている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、タチウオ、マゴチ、ジンドウイカ類、コウイカ、小エビ類が漁獲されている。小エビ類は好調であるがクルマエビは低調である。</p> <p>さわら流し刺し網の5月までの漁獲量は、4～6kg サイズの漁獲増により、前年の107%となっている。</p> <p>柵網では主にマダイ、クロダイ、タチウオ、アカカマス、マツイカ、コウイカ、カミナリイカが漁獲されている。</p> <p>いわし機船船びき網は6月16日から大羽漁が開始された。</p> <p>さより機船船びき網の漁獲量は200kg/日・統と先月に引き続き好調である。</p>